

KISSEI

証券コード：4547

決算補足資料

2020年3月期 第3四半期

2020年1月31日

 **キッセイ薬品工業株式会社**

目次

【四半期決算短信「経営成績に関する説明」より抜粋】	P 1
I. 連結損益計算書の推移	P 2
II. 主な医薬品の売上推移	P 3
III. 新薬開発状況（自社）	P 4
IV. 新薬開発状況（導出）	P 4

本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による2020年1月時点での分析に基づいています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。

【四半期決算短信「経営成績に関する説明」より抜粋】

・売上高（医薬品事業）の状況

医薬品事業の売上高は、40,288百万円（前年同期比15.5%減）となりました。主力製品における積極的な医薬情報活動を推進いたしましたことなどにより、過活動膀胱治療薬「ベオーバ錠」、高リン血症治療薬「ピートルチュアブル錠」及び「ピートル顆粒分包」、糖尿病治療薬「グルベス配合錠」及び昨年6月に新発売いたしました「グルベス配合OD錠」（剤形追加）などの売上が増加いたしました一方、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ錠」及び「ユリーフOD錠」の後発品の発売による売上の減少などにより、減収となりました。また、フェリング・ファーマ株式会社との間で日本国内におけるコ・プロモーション契約を締結いたしました、男性における夜間多尿による夜間頻尿治療薬「ミコリンメルトOD錠25µg、同OD錠50µg」につきましては、昨年9月より医薬情報活動を実施しておりますほか、JCRファーマ株式会社と共同開発を行いました腎性貧血治療薬「ダルベポエチン アルファBS注JCR」を昨年11月に新発売いたしました。

・売上高（情報サービス事業）の状況

情報サービス事業の売上高は、4,605百万円（前年同期比26.0%増）となりました。情報機器レンタルにおきまして増収となったことなどによります。

・売上高（その他の事業）の状況

その他の事業の売上高は、3,658百万円（前年同期比6.8%減）となりました。物品販売業で増収となりましたものの、建設請負業におきまして減収となりました。

・利益の状況

利益面では、研究開発費を主に販売費及び一般管理費が減少いたしました一方、減収及び売上原価率の上昇がありましたことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

・研究開発の状況

ライジェルファーマシューティカルズ社（アメリカ）との間で、日本・中国・韓国・台湾における独占的な開発権及び販売権取得に関する契約を締結いたしました慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬R788（開発番号、一般名：ホスタマチニブ）につきましては、昨年9月より、国内第Ⅲ相臨床試験を開始いたしました。脊髄小脳変性症治療薬KPS-0373（開発番号、一般名：ロバチレリン）につきましては、第Ⅲ相臨床試験を終了し、これまでの試験により得られた結果について重症度による部分集団解析などの詳細な検討を行うとともに、当局との協議を進めております。なお、これらの併合解析（事後解析）の結果につきましては、先般、医学雑誌に論文掲載がなされております。

I. 連結損益計算書の推移

(百万円)

項目	2019年3月期		2020年3月期			
	第3四半期 累計	通期	第3四半期 累計	前同比	通期予想	前期比
売上高	55,255	72,297	48,552	△12.1%	62,000	△14.2%
医薬品事業	47,671	61,520	40,288	△15.5%	51,000	△17.1%
医薬品	40,260	50,958	32,176	△20.1%	40,700	△20.1%
ヘルスケア食品	2,957	3,789	2,997	1.4%	4,000	5.6%
その他*	4,453	6,772	5,113	14.8%	6,300	△7.0%
情報サービス事業	3,656	5,532	4,605	26.0%	6,100	10.3%
その他の事業	3,927	5,244	3,658	△6.8%	4,900	△6.6%
(売上高のうち輸出)	(4,890)	(6,153)	(4,542)	(△7.1%)	(5,300)	(△13.9%)
売上原価	20,167	26,731	20,753	2.9%	27,500	2.9%
(原価率%)	(36.5)	(37.0)	(42.7)		(44.4)	
売上総利益	35,088	45,566	27,799	△20.8%	34,500	△24.3%
販売費及び一般管理費	30,118	39,363	25,060	△16.8%	33,000	△16.2%
研究開発費	12,428	15,711	8,053	△35.2%	10,600	△32.5%
(売上高比%)	(22.5)	(21.7)	(16.6)		(17.1)	
営業利益	4,970	6,202	2,739	△44.9%	1,500	△75.8%
営業外収益	1,062	1,224	1,154	8.7%	1,400	14.4%
受取利息及び配当金	1,002	1,112	1,050	4.8%		
その他の収益	59	111	103	73.3%		
営業外費用	396	257	60	△84.6%	200	△22.2%
支払利息	17	23	17	0.2%		
その他の費用	378	233	43	△88.6%		
経常利益	5,636	7,169	3,832	△32.0%	2,700	△62.3%
特別利益	3	4	977	-	1,650	-
特別損失	52	53	17	△67.3%	50	△5.7%
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,587	7,121	4,793	△14.2%	4,300	△39.6%
法人税、住民税及び事業税	1,079	1,634	684	△36.6%	400	△75.5%
法人税等調整額	212	△47	514	141.8%	950	-
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	25	54	50	101.7%	50	△7.7%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	4,270	5,481	3,542	△17.0%	2,900	△47.1%

(包括利益) (△321) (8,903) (14,093) (-)

* : 国内販売提携先供給額、技術料売上 (導出テーマに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤリティ) 、コ・プロモーションフィーの合計額

Ⅱ. 主な医薬品の売上推移

(百万円)

製品名	2019年3月期		2020年3月期予想			
	第3四半期 累計	通期	第3四半期 累計	前同比	通期予想	前期比
排尿障害改善薬 ユリーフ	14,126	17,810	4,919	△65.2%	6,200	△65.2%
過活動膀胱治療薬 ベオーバ	712	706	1,954	174.2%	2,100	197.1%
高リン血症治療薬 ピートル	3,792	4,801	4,526	19.4%	6,300	31.2%
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注JCR	4,762	6,015	4,531	△4.8%	5,000	△16.9%
腎性貧血治療薬 ダルベポエチン アルファBS注JCR	-	-	166	-	500	-
糖尿病治療薬 グルベス	3,478	4,428	3,589	3.2%	4,800	8.4%
糖尿病治療薬 グルファスト	1,351	1,678	1,129	△16.4%	1,300	△22.5%
口腔乾燥症状改善薬 サラジェン	1,276	1,617	1,287	0.9%	1,600	△1.1%
潰瘍性大腸炎治療薬 レクタブル	507	663	595	17.4%	1,000	50.7%
高脂血症治療薬 ベザトール	1,373	1,709	1,106	△19.5%	1,420	△16.9%

Ⅲ. 新薬開発状況（自社）

(2020年1月現在)

開発段階	開発番号 (一般名)	開発区分	予定適応症	主な作用等	備考
第Ⅲ相	KPS-0373 (ロパチレリン)	導入品/塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出 ホルモン(TRH)作用	第Ⅲ相臨床試験終了 PMDAと協議中
	AJM300 (カロテグラストメチル)	導入品/EAファーマ 共同開発	潰瘍性大腸炎	α4インテグリン阻害作用	
	CCX168 (アバコパン)	導入品/ピフォー・フレゼニ ウス・メディカル・ケア・ リーナル・ファーマ(スイス)	顕微鏡的多発血管炎、 多発血管炎性肉芽腫症	補体C5a受容体阻害作用	
	R788 (ホスタマチニブ)	導入品/ライジェルファーマ シューティカルズ(アメリカ)	慢性特発性血小板 減少性紫斑病	チロシキナーゼ阻害作用	
第Ⅱ相	KLH-2109 (リンザゴリクス)	創製品	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト	
	MR13A9 (ジフェリケファリン)	導入品/丸石製薬 共同開発	透析患者における そう痒症	κオピオイド受容体刺激作用	
	KDT-3594	創製品	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	
第Ⅰ/Ⅱ相	YS110	導入品/ワイズ・エー・シー、 東京大学、日本医療研究 開発機構(AMED)	悪性中皮腫	抗CD26ヒトモノクローナル 抗体	

※ 前回公表時（2019年11月）からの変更点： ダルベポエチン アルファBS注JCR … 2019年11月27日新発売

Ⅳ. 新薬開発状況（導出）

(2020年1月現在)

開発段階	開発番号/ 一般名	提携企業	権利地域	予定適応症	主な作用等
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	エーザイ(日本)	アセアン*1	2型糖尿病	速効・短時間型 インスリン分泌促進作用
	シロドシン (silodosin)		アセアン、インド、スリランカ *2	前立腺肥大症に 伴う排尿障害	α1Aアドレナリン受容体 拮抗作用
第Ⅲ相	KLH-2109 (linzagolix)	オブシーバ(スイス)	日本、一部のアジアを除く 全世界	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト
	KLH-2109 (linzagolix)	オブシーバ(スイス)	日本、一部のアジアを除く 全世界	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	喘息の急性発作	β2アドレナリン受容体 刺激作用

※ 前回公表時（2019年11月）からの変更点： なし

*1： 発売：タイ、フィリピン、カンボジア、ミャンマー、承認：ラオス、申請中：ベトナム

*2： 発売：タイ、インド、インドネシア、フィリピン、カンボジア、ミャンマー、マレーシア、申請中：アセアン2カ国